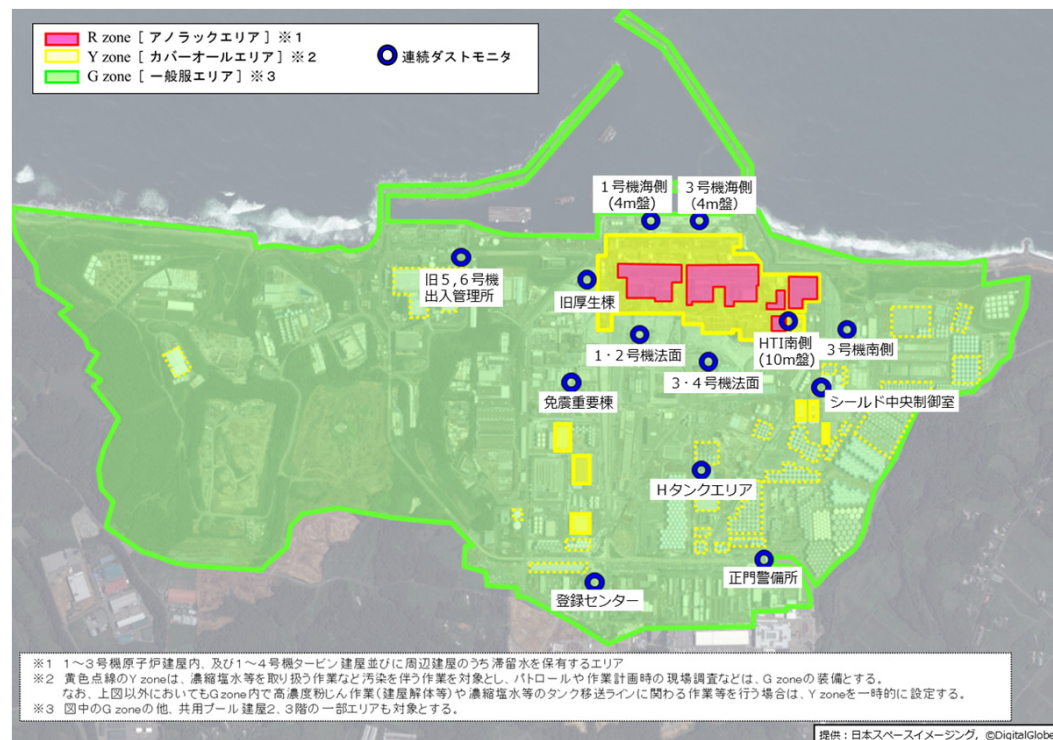


労働環境改善スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定		2月		3月				4月				5月		6月		備考	
			19	26	5	12	19	26	2	9	16	下	上	中	下	前	後			
防護装備	1	防護装備の適正化検討 (実績) ・管理対象区域の運用区分及び放射線防護装備の適正化検討※ ・管理対象区域の運用区分に応じた放射線防護装備の適正化の運用開始(2016年3月8日～) (予定) ・管理対象区域の運用区分及び放射線防護装備の適正化検討※(運用範囲の拡大等) ※管理対象区域を3つのゾーンに区分し、休憩所や装備交換所で、各区分に応じた防護装備を着用することで、作業時の負荷軽減による安全性と作業性の向上を図る。	管理対象区域の運用区分及び放射線防護装備の適正化検討(1~4号機周辺のG zone拡大に向けた検討)																	
			管理対象区域の運用区分に応じた放射線防護装備の適正化 新規追加 ▼3/30 G zoneの拡大(4m盤及び1~4号機法面)																	
防災安全	2	重傷災害撲滅、全災害発生数の推移 (実績) ・協力企業との情報共有、安全施策の検討・評価 ・安全推進協議会の開催(毎週):災害事例等の再発防止対策の周知等 ・作業毎の安全施策の実施(TBM-KY等) (予定) ・協力企業との情報共有、安全施策の検討・評価 ・安全推進協議会の開催(毎週):災害事例等の再発防止対策の周知等 ・作業毎の安全施策の実施(TBM-KY等)	情報共有、安全施策の検討・評価																	
			健康相談受付																	
健康管理	3	長期健康管理の実施 (実績) ・検査対象者・医療機関等からの問い合わせ対応及び検査費用の精算手続き ・2017年度「がん検査」案内(社員) (予定) ・検査対象者・医療機関等からの問い合わせ対応及び検査費用の精算手続き	【検査受診期間】検査対象者・医療機関等からの問い合わせ対応、検査費用精算手続き及び2017年度「がん検査」案内(社員)																	
			各医療拠点の体制検討																	
健康管理	4	継続的な医療職の確保と患者搬送の迅速化 (実績) ・1F救急医療室の2017年3月までの医師確保完了(固定医師1名+0-7-7)支援医師) ・1F救急医療室の4月~6月の勤務医師調整	1F救急医療室の4月~6月の勤務医師調整 実績反映																	
			1F救急医療室6月までの医師確保完了 新規追加																	



管理対象区域の運用区分 レイアウト

分野名	活り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定		2月		3月				4月				5月		6月		備考	
			19	26	5	12	19	26	2	9	16	下	上	中	下	前	後			
労働環境改善	要員管理、労働環境改善	5 作業員の確保状況と地元雇用率の実態把握	(実績) ・作業員の確保状況(2月実績/4月予定)と地元雇用率(2月実績)についての調査・集計			▼作業員の確保状況調査依頼		作業員の確保状況集約▼		▽作業員の確保状況調査依頼		作業員の確保状況集約▽		▽作業員の確保状況調査依頼		作業員の確保状況(4月実績/6月予定)と地元雇用率(4月実績)についての調査・集計 新規追加				
		(予定) ・作業員の確保状況(2月実績/4月予定)と地元雇用率(2月実績)についての調査・集計 ・作業員の確保状況(3月実績/5月予定)と地元雇用率(3月実績)についての調査・集計 ・作業員の確保状況(4月実績/6月予定)と地元雇用率(4月実績)についての調査・集計	検討・設計	作業員の確保状況(2月実績/4月予定)と地元雇用率(2月実績)についての調査・集計																
		6 労働環境・生活環境・就労実態に関する企業との取り組み	(実績) ・労働環境・生活環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握 ・意見交換及び実態把握に基づく解決策の検討・実施・結果のフィードバック ・相談窓口への連絡(処遇・労働条件等)への対応 ・雇用契約を確認する仕組みの検討と実施準備			労働環境・生活環境に関する実態把握・解決策検討・実施														
		(予定) ・労働環境・生活環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握 ・意見交換及び実態把握に基づく解決策の検討・実施・結果のフィードバック ・相談窓口への連絡(処遇・労働条件等)への対応 ・雇用契約を確認する仕組みの検討と実施準備	検討・設計	雇用契約を確認する仕組みの検討と実施準備																
			現場作業	協力企業との意見交換 ▼(3/6)														協力企業との意見交換(4月下旬)▽	協力企業との意見交換会 ▽(5月下旬)	新規追加

Green zone [一般服エリア]の拡大について

2017年3月30日

TEPCO

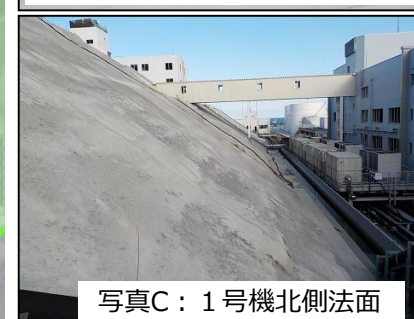
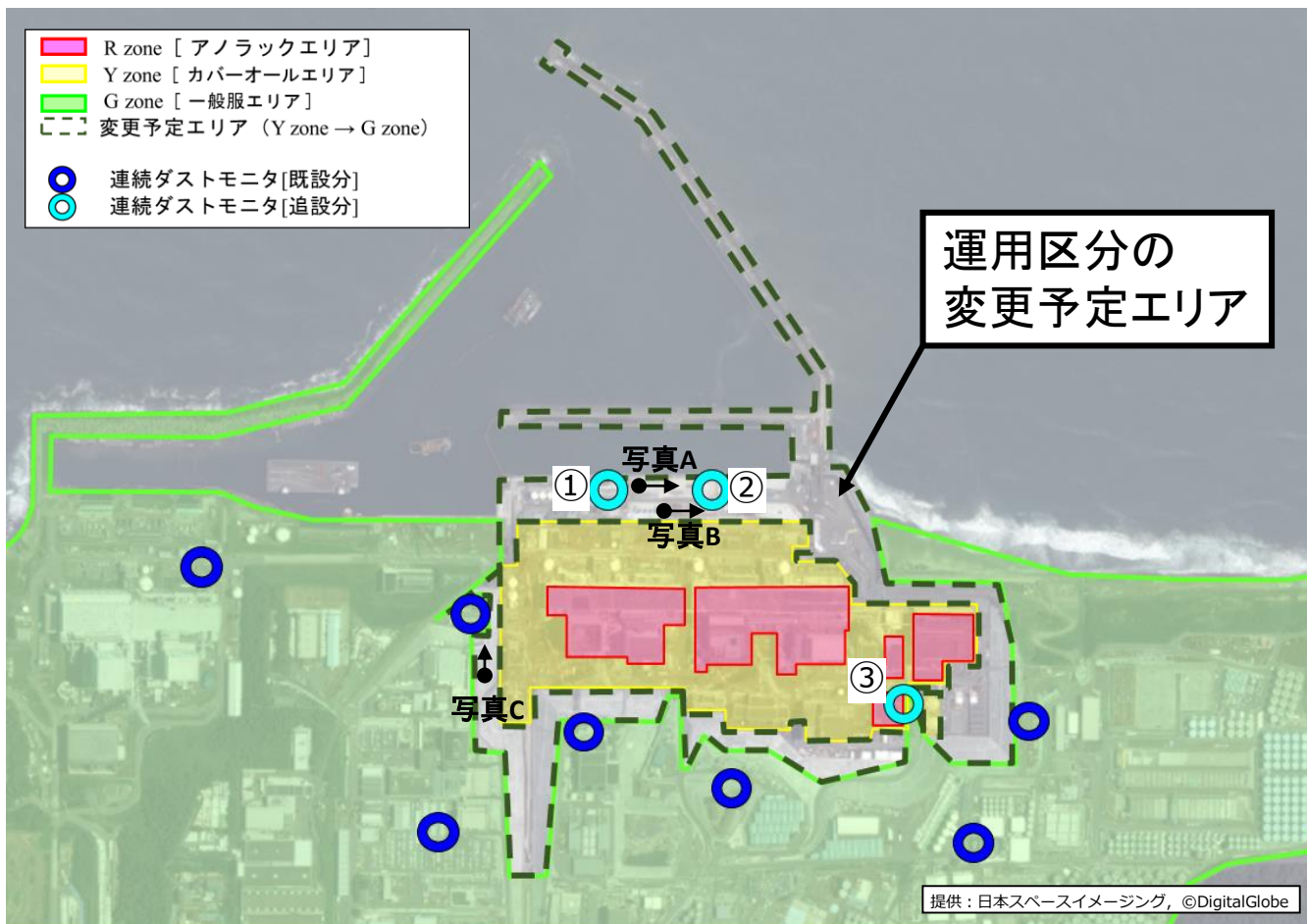
東京電力ホールディングス株式会社

作業時の負荷軽減により安全性と作業性の向上を図るため、ガレキ撤去・フェーシング等の環境改善が進んだ『4 m盤』及び『1～4号機法面』について、Yellow zone から Green zoneに区分を変更し、一般作業服又は構内専用服と使い捨て式防じんマスクで作業できる範囲を2017年3月30日から拡大する。

なお、運用区分の変更にあたっては、空气中放射性物質濃度がマスクの着用基準を下回っていることを確認するとともに、ダスト上昇を早期に検知するための連続ダストモニタを追加設置した。また、作業員がYellow zoneとGreen zoneの境界を識別できるよう、標識等の現場掲示を行う。

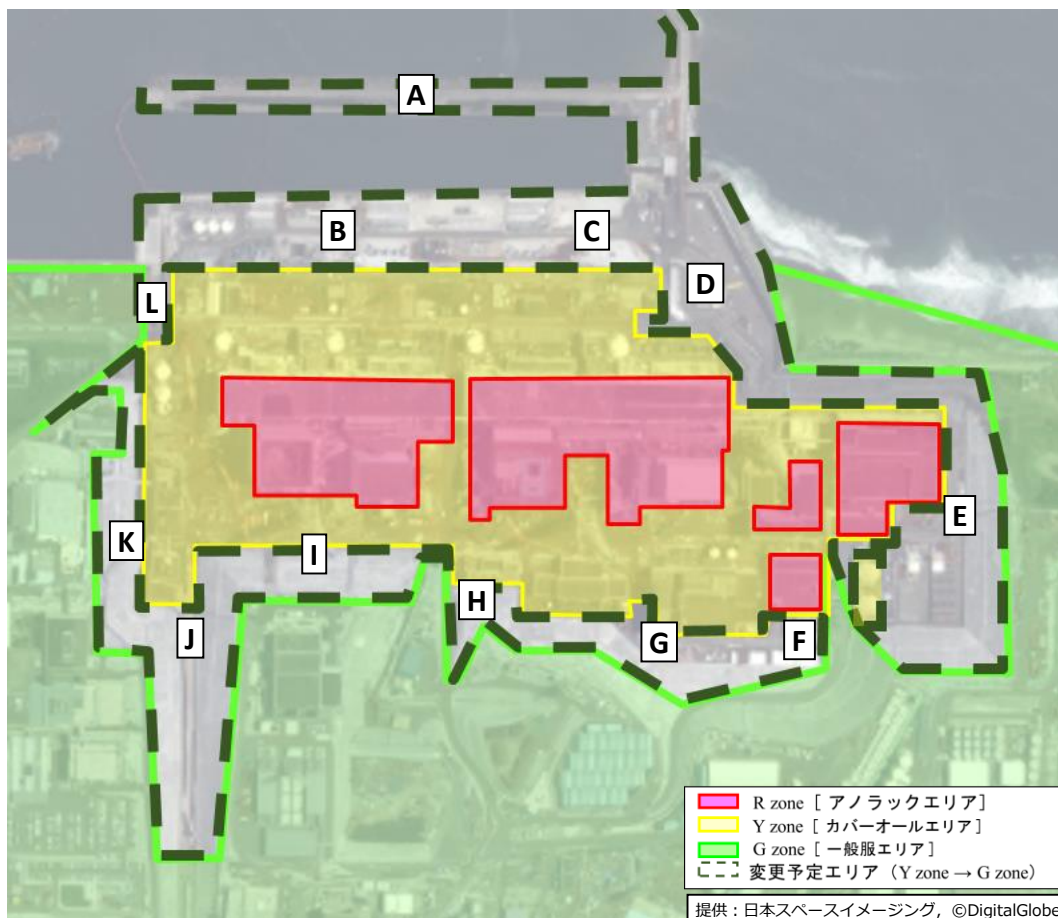
2. 運用区分の変更予定エリア及び連続ダストモニタ追設箇所

- 運用区分の変更予定エリア（図中L）：『4m盤』及び『1～4号機法面』
- 連続ダストモニタの追設箇所（図中○）：
 - ① 1号機海側（4m盤）
 - ② 3号機海側（4m盤）
 - ③ HTI南側（10m盤）



3. 空气中放射性物質濃度の確認結果（1/2：手サンプリング測定）

運用区分の変更予定エリアについて、手サンプリングによる空气中放射性物質濃度の測定を行い、マスク着用基準未満（ $2 \times 10^{-4} [\text{Bq}/\text{cm}^3]$ ）であることを確認した。

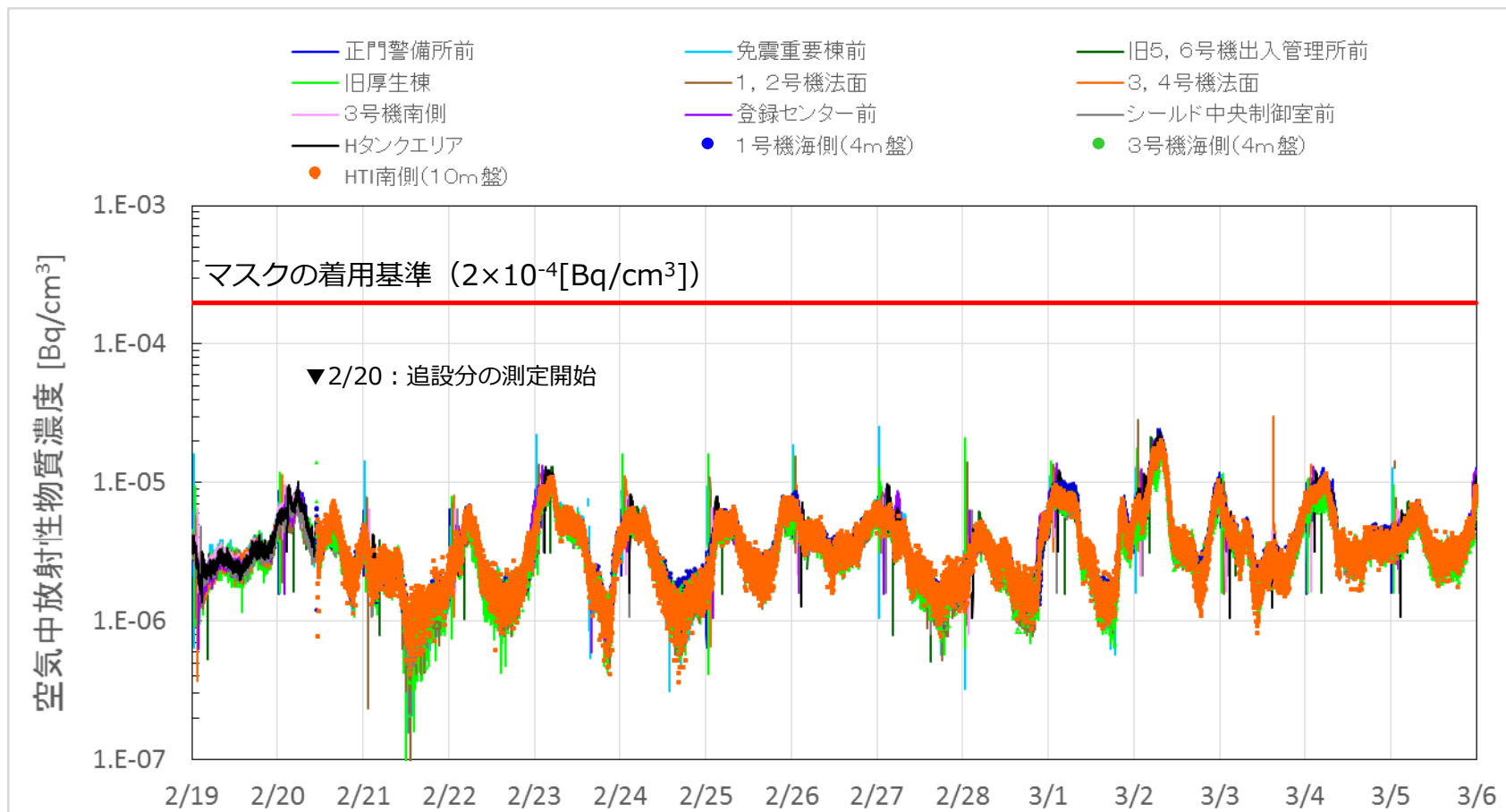


測定点	空气中放射性物質濃度[Bq/cm ³]		
	Cs-134	Cs-137	合計
A	< 9.9×10^{-7}	< 9.0×10^{-7}	検出限界未満
B	< 8.1×10^{-7}	< 7.5×10^{-7}	検出限界未満
C	< 8.6×10^{-7}	< 8.0×10^{-7}	検出限界未満
D	< 9.5×10^{-7}	< 8.0×10^{-7}	検出限界未満
E	< 1.0×10^{-6}	< 9.8×10^{-7}	検出限界未満
F	< 7.9×10^{-7}	< 8.4×10^{-7}	検出限界未満
G	< 1.0×10^{-6}	< 9.7×10^{-7}	検出限界未満
H	< 1.1×10^{-6}	< 9.6×10^{-7}	検出限界未満
I	< 1.0×10^{-6}	< 8.6×10^{-7}	検出限界未満
J	< 7.0×10^{-7}	< 6.8×10^{-7}	検出限界未満
K	< 8.2×10^{-7}	< 7.1×10^{-7}	検出限界未満
L	< 7.7×10^{-7}	< 8.2×10^{-7}	検出限界未満

※マスク着用基準： $2 \times 10^{-4} [\text{Bq}/\text{cm}^3]$

3. 空气中放射性物質濃度の確認結果（2/2：連続ダストモニタ）

運用区分の変更予定エリアにおいて、ダスト上昇した際の早期検知を目的として追設した連続ダストモニタの指示値についても、マスク着用基準未満（ $2 \times 10^{-4} [\text{Bq}/\text{cm}^3]$ ）であることを確認。



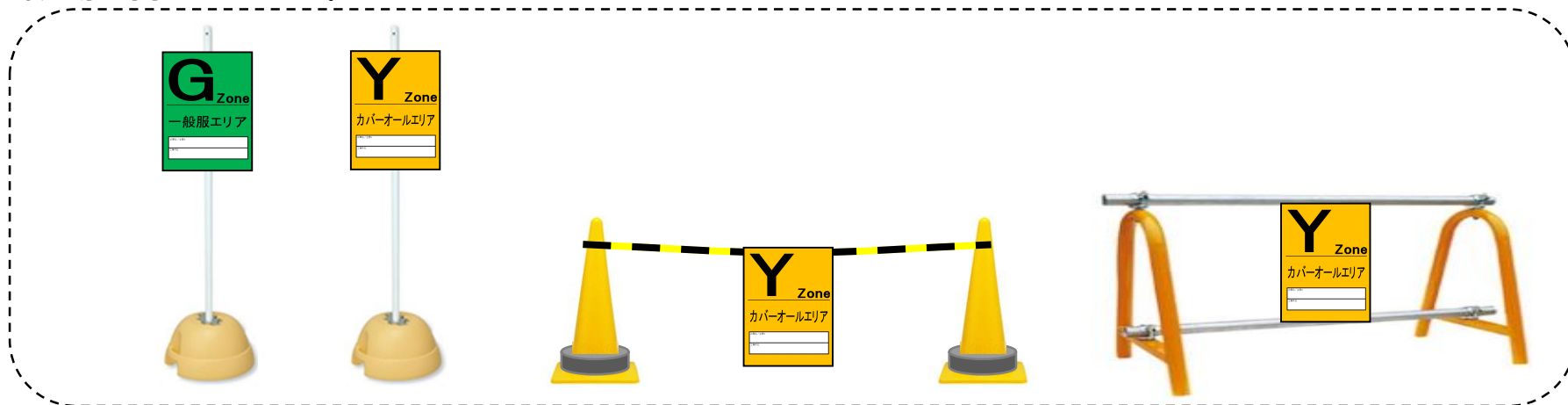
連続ダストモニタの指示値は、天然核種の影響を受け、概ね $10^{-6} \sim 10^{-5} [\text{Bq}/\text{cm}^3]$ で日変動する。

4. 境界の識別

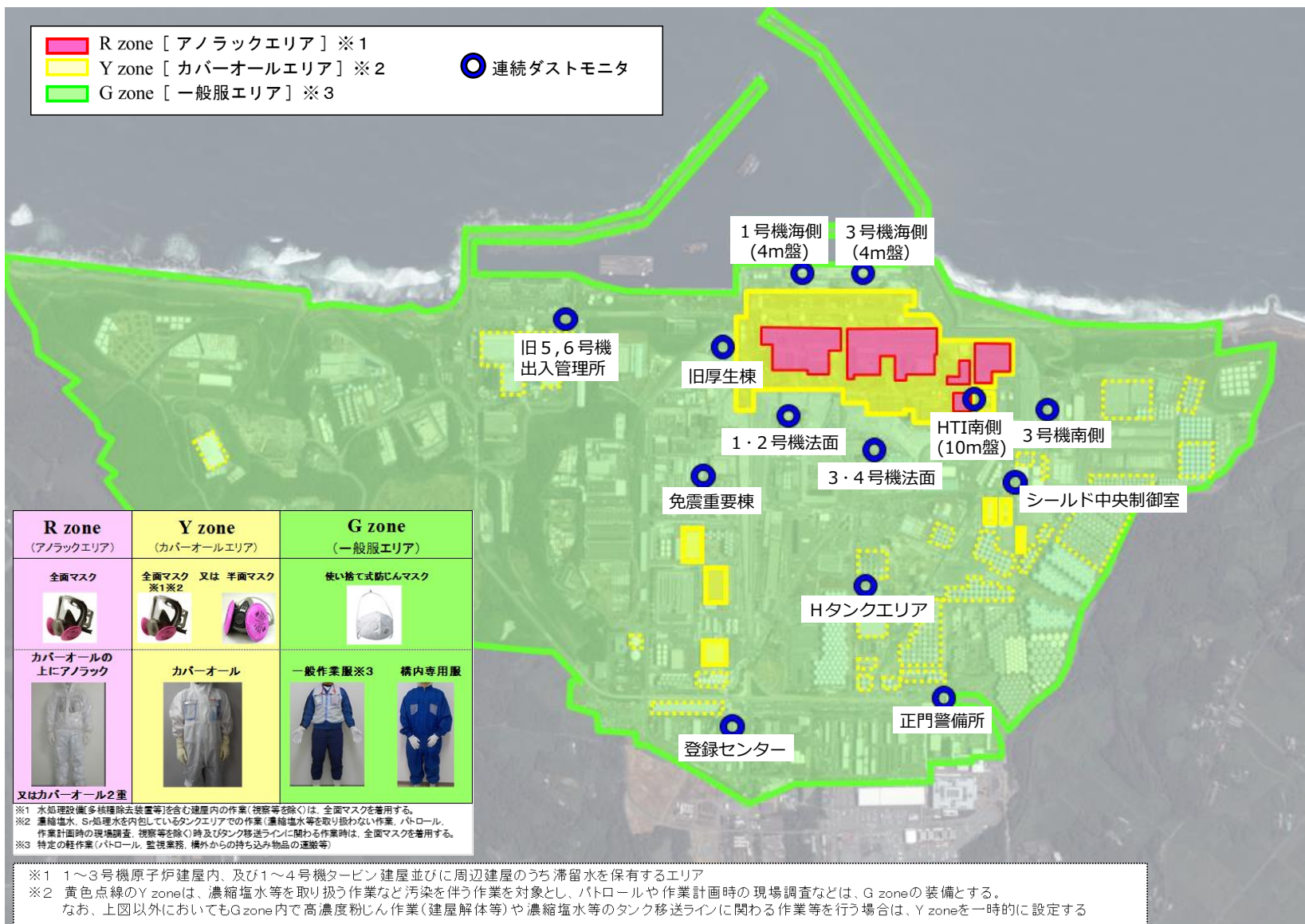
Yellow zone や Green zone 等の境界には、作業員が容易にエリアを識別できるように、以下の標識を掲示する。



(現場の掲示イメージ)



【参考】 構内全域の運用区分マップ



提供：日本スペースイメージング, ©DigitalGlobe